

川口市長 奥ノ木信夫 様

2015年8月19日

ふるさと鳩ヶ谷の会 会長 山中照行

川口市坂下町2-5-6

戸塚公民館を考える会 代表 鍋嶋忠雄

川口市東川口3-8-24-202

新庁舎建設基本計画の大幅見直しについて（要請）

日頃から、市民福祉向上へのご努力に敬意を表します。

本日、答申された「川口市新庁舎建設基本計画」は、川口市民の置かれている状況や市民アンケート・パブリックコメントに出された切実で、貴重な意見等が反映されていません。このまま、建設計画を実施することは、市民サービスに資するどころか、大幅な建設費の高騰による財政負担を市民に課することになりかねません。川口市の最高規範である川口市自治基本条例第19条に基づき、計画の大幅見直しを要請します。

記

1、第2期棟の建設を止め、建設費を削減して市民負担を極力抑制して下さい

- ① 今年度介護保険料、保育料等の値上げ等が行われ、県下でもトップクラスの国保税や物価上昇のなか、しかも消費税10%への引き上げが計画されているなか、市民負担は極力抑制されるべきです。
- ② 答申では、市の人口減少を予測しています。その中で、現在より1.25倍もの広さの市庁舎が必要になるとは考えられません。
- ③ 他市の事例として、横浜市では、新庁舎建設の基本計画（昨年3月決定）による建設費616億円では足りず、今年133億円（21.6%）増額するなど、各地の自治体で当初計画を上回る建設費になっています。簡素でコンパクトな庁舎建設が求められています。

（提案）

- ① 耐震性も確保され、市域のほぼ中心に位置する鳩ヶ谷庁舎を活用することで、第二期棟は必要なくなります。第1期棟に鳩ヶ谷庁舎（支所・保健ステーション除く）と活用予定の第2庁舎・分庁舎を加えると延床面積は現在より6.8%広がります。
- ② 今回の建て替えに対象でない職員数を除く1,537名を基礎に計算することで、建設する延床面積を削減することは可能です。
- ③ 50台前後の乗用車収容のために、莫大な建設費が見込まれる地下駐車場を建設すべきではありません。収容しきれない乗用車は現市役所敷地に収めればすむことです。

2、支所・駅前行政センターの機能拡充を併せて行って下さい

市が行った新庁舎建設に関するアンケート、および新庁舎建設に関するパブリックコメントでも、支所機能の拡充を求める意見が多く寄せられています。

- ① アンケートでは、利用する機会の多い場所として、支所・駅前センター合計で69.8%、本庁舎は21.1%です。8割近い市民は本庁舎を利用する機会は稀なのです。
- ② いかにも本庁舎を立派にしても、大半の市民が利用しないのであれば、負担だけ負わされる建物と市民は見るでしょう。新しい市庁舎が建てられると同時に、身近にある支所の充実が実感できてこそ、市民から祝福される市役所になるのではないのでしょうか。
- ③ 新庁舎建設に併せ、当面すぐ出来る鳩ヶ谷支所を総合支所に機能を拡充し北東部市民への行政サービスを改善して下さい。鳩ヶ谷庁舎は地下鉄やバスにより、戸塚・安行・神根地区等からのアクセスが向上しています。鳩ヶ谷支所を総合支所にする事で、4割近い市民への行政サービスが向上され、多くの市民が市政を身近に感じられるようになると考えます。

3、市民向け説明会開催と庁内検討会議・各部会の検討内容の公開してください

- ① 新庁舎は「市民の共有財産」（答申:基本方針）と、意義づけられています。しかし、それに相応しく市民への広報と市民の意見を聞くことが行われていません。何よりも、市民と対話する説明会が開かれていないことは「市民の共有財産」との認識が乏しいことの表れです。真に「共有財産」と認識するなら、公民館単位で説明会を開き、基本計画を説明し市民の意見を聞くべきと思います。
- ② 職員による庁内検討会議が行われることが「基本構想第一回審議会」で報告されました。しかし、検討状況は第三回審議会に検討テーマが報告された以降、明らかにされていません。計画に大きく影響を及ぼす実務部門の検討経過は、市民も重大な関心を持ちます。とりわけ、第一部会で、「支所機能の充実」が検討テーマとなっていた点に注目しましたが、これは、市民に直接関わりのあるテーマであり、強く公開を求めます。

以 上